

特集

看護と哲学

〈執筆〉

池田喬／小林道太郎／榊原哲也／村上靖彦／

三浦智美／坂井志織／細野知子／村上優子／西村ユミ

【研究報告】

介護老人保健施設に勤務する看護師のアセスメント技術に関する研究 山田由紀

【連載】

英語論文を書くということ・5 余善愛

編集後記

●システマティックレビューをようやく取り上げることができました。特集は2本ですが、いずれも力のこもったご寄稿で、読み応え十分です。今後も、SRを追いかけます。●特別記事で家高氏は、テクネー(技術的あるいは制作的知識)とプロネーシス(実践的あるいは倫理的知識)に関する考察から、プロネーシスを看護実践にあてはまるものと提起します。一方、原著論文で川名氏は、技術と「わざ」を分け、言語化の難しい熟達した看護実践を「わざ」とし、それがいかなる場から創造・拡大されるのかを論じます。また家高氏は、Dr. Bennerのいう「技能を備えた身体」によって為される看護実践の解明のために参与観察の重要性を挙げていますが、川名氏は、参与観察を行なっています。安易な図式化は自戒しつつ、ここには何か、看護実践の本質を考える上で共通の符号がある気がします。看護学と哲学のフィールドを横断し、看護の実践知を独自に探究する看護研究者が、西村ユミ氏です。次号特集お楽しみに！(小長谷)

看護研究 第49巻 第3号(通巻266号) 2016年6月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2016, Printed in Japan

販売部(03)3817-5659 社内案内(03)3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

『看護研究』編集室：(03)3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当／小長谷・早田
1部定価1,900円＋税

2016年年間購読料(税込、送料弊社負担、増刊号を含む年7冊)：冊子版13,025円 冊子＋電子版/個人16,265円 冊子＋電子版/共有18,274円 電子版/個人13,025円 電子版/共有15,034円

〈学割年間購読料〉冊子版10,498円 冊子＋電子版/個人13,738円 電子版/個人10,498円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集協力者(五十音順)

阿曾洋子／井上智子
井部俊子／太田喜久子
岡谷恵子／片田範子
金井Pak 雅子／上泉和子
萱間真美／川口孝泰
河口てる子／グレッグ美鈴
黒田裕子／小松浩子
坂下玲子／真田弘美
筒井真優美／水流聡子
西村ユミ／野嶋佐由美
早川和生／舟島なをみ
正木治恵／村嶋幸代
森 恵美／安酸史子
山田雅子／山本則子

看護研究バックナンバー

vol. 49 ●特集 | 看護学の発展にとっての理論構築—Transitions Theoryからの展望

no. 2 【座談会】看護学の発展にとっての理論構築 南裕子, 片田範子, 坂下玲子

看護理論とその展開—Transitions Theoryからの考察 坂下玲子

概説 Transitions Theory / トランジション理論 増野園恵

〈Dr. Afaf I. Meleis 講演「Disruptions: Then What?」より〉

Disruptions から始まる Transition—関連概念と理論枠組の理解 〈訳・編集〉岡田彩子

For Future Development of Situation Specific Theories Eun-Ok Im

【翻訳】状況特定理論の将来の発展のために Eun-Ok Im, 〈翻訳〉鈴木和代

〈Dr. Eun-Ok Im の論考を受けて〉

状況特定理論はどう構築されるのか—理論構築を具体的にイメージするために 小野博史, 坂下玲子

〈Scope〉

第12回国際家族看護学会議—家族看護学の潮流を探る 法橋尚宏, 西垣佳織, 小林京子, 荒木暁子, 和田佳子,

藤井智恵美, 山口智治, 佐藤奈保, 本田順子, 大畠万里子, 鈴木智子

〈連載〉

英語論文を書くということ④ 原著論文を書く過程 余 善愛

vol. 49 ●特集 | 混合研究法が創る未来—第1回日本混合研究法学会学術大会より

no. 1 〈ワークショップ1〉混合研究法入門 R. パーク・ジョンソン, マイク・D. フェターズ【編集・報告】抱井尚子

〈基調講演3〉看護における混合研究法の活用—世代間交流看護支援の研究を例に 亀井智子

〈ワークショップ3〉混合研究法としてのグラウンデッドなテキストマイニング・アプローチ 稲葉光行, 抱井尚子

〈パネルディスカッション1〉混合研究法をめぐる議論からみえてくるもの

ベンジャミン・F. クラプトリー, 抱井尚子, 亀井智子, マイク・D. フェターズ【編集・報告】八田太一

〈特別記事〉

〈看護におけるEBP構築に向けて考える①〉

エビデンスを臨床に浸透させるための試み—The Japan Centre for Evidence Based Practice の経験をもとに

植木慎樹, 山川みやえ, 伊藤美樹子, 渡邊浩子, 牧本清子

〈看護におけるEBP構築に向けて考える②〉

システマティックレビューから何を学ぶのか—厳密なシステマティックレビューに取り組む際の視点

松中枝理子, 牧本清子

〈連載〉

英語論文を書くということ③ 文献検索の目的, 種類, 実行法 余 善愛

vol. 48 ●特集 | 査読を考える—査読ガイドラインの構築に向けて

no. 7 論文の査読ガイドライン構築に向けて—誰のためのガイドラインか 萱間真美

【座談会】査読ガイドラインの構築に向けて何が必要か 小泉俊三, 法橋尚宏, 山本則子, 萱間真美

〈海外の動向から考える〉 【翻訳】優れた研究のための触媒となるEQUATORネットワーク Iveta Simera

【翻訳】Journal of Nursing Education 査読者のためのガイドライン

〈英文誌／和文誌の査読から考える〉 Cancer Nursing 査読者としての経験から—投稿ガイドラインを中心に 丸光恵

英文誌と和文誌の査読の経験から 半澤節子

投稿者・査読者・編集者の視点から査読ガイドラインの意義を考える 江藤宏美

〈学会の動向から考える〉 Japan Journal of Nursing Science 編集委員長としての経験に基づく査読に関する私見 グレグ美鈴

日本看護学会教育学会の査読の動向 秋元典子

『家族社会学研究』の査読システムと査読ガイドライン 池岡義孝

〈査読を受けた経験をいま査読者としてどういふか〉 著者と査読者の相互作用 西垣昌和

論文査読に必要とされるものは何か 跡上富美

投稿経験から考える査読のプロセスと査読者の役割 河野あゆみ

〈特別記事〉

【翻訳】よりよいヘルスケアの実現に向けて道筋をリードする—IMHLを通じて世界へ

Leslie Breitner〈翻訳〉緒方泰子, 湯本淑江

特別養護老人ホームにおけるミューチュアル・アクションリサーチ—自己革新のプロセスをたどる実践研究手法の適用

小山千加代

〈連載〉

英語論文を書くということ② 英語論文を書く過程 余 善愛

混合研究法入門⑥〔最終回〕混合研究法デザインとその研究例(2)応用型編 抱井尚子

UCSFで看護研究を学ぶ⑥〔最終回〕研究を伝えるためのさまざまな取り組み 齋藤真希

